

「災害時専門家アドバイザー制度」の創設について

～ 土砂災害に対応する制度は、全国初 ～

京都市では一昨年7月、北区雲ヶ畑における土砂崩れの際、地盤災害の専門家に災害現場を視察いただいた上で、避難勧告解除の判断に当たっての大変有用なアドバイスをいただきました。

こうした先例を活かし、近年頻発している台風、集中豪雨、地震などの大規模な自然災害や、放射線・生物剤・化学物質などによるNBC災害への対応力を強化、迅速化するため、「災害時専門家アドバイザー制度」を創設します。

これは、土砂災害やNBC災害(※)などの発生時、災害対策本部のトップや消防局長が各分野の専門家に要請し、24時間体制で必要な助言・指導等を求めることができる制度です。

1 運用開始日

平成20年5月15日

2 アドバイザーと助言内容等

アドバイザーには、避難や救助活動等の対応方針の決定に当たり、高度な専門的見地からの助言・指導を求める。

災害種別等	アドバイザー	助言等の内容
土砂	京都大学 防災研究所 地盤災害研究部門	土砂崩れなどの発生の危険性や範囲、安全性 など
放射線	京都大学 放射性同位元素総合センター	放射性物質の種類、性質、人体への影響 など
生物剤	京都市 衛生公害研究所	生物剤・病原体の特定や、感染症に対する防護 など
化学物質		化学物質の特定や人体への影響 など
負傷者の措置	京都市立病院	専門病院の紹介、負傷者の応急措置 など

※ 今後、他の大学などの研究機関とも連携を図っていく。

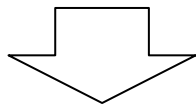
3 アドバイザーの活動

アドバイザーには、24時間体制で対応いただき、災害発生時には状況により、消防局の緊急車両で災害現場へ出動し、または、電話や電子メール等で連絡を取り、的確なアドバイスをいただく。

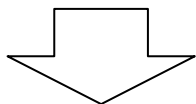
※ NBC災害 … 施設の事故やテロ等による、核物質 (Nuclear) ・生物剤 (Biological) ・化学剤 (Chemical) に関連する災害の総称。

土砂災害の発生を想定した具体例

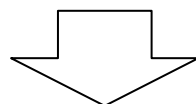
- ① 台風に伴う大雨で土砂崩れが発生し、引き続き土砂災害の危険性が認められる状況。



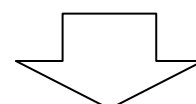
- ② 災害対策本部長が、付近住民に対して避難勧告を発令。



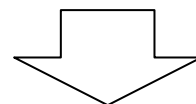
- ③ 大雨が止んだ後、避難勧告の解除時期等の決定に当たり、災害対策本部長が専門家の知見を要すると判断。



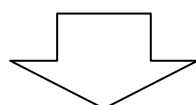
- ④ 災害対策本部長から、事前に登録されたアドバイザーに助言等を要請。



- ⑤ 消防局の緊急車両により、アドバイザーが現地へ急行。



- ⑥ アドバイザーが、現地で被害状況・地質等を確認し、土砂崩壊の危険性の有無、安全監視の方法等について助言。



- ⑦ アドバイザーによる助言を参考に、災害対策本部長が避難勧告の解除時期等を決定。